

奈良県行政経営マネジメントプログラムの概要

○基本方針

「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」政策の実現のため、あらゆる経営資源を活用するとともに、マネジメントの考え方を全面的に展開

「マネジメント」の全面的な展開

エリアマネジメント

- ① 市町村との連携・協働
・「奈良モデル」の実現

- | | |
|-----|---|
| 方向性 | (1) 市町村間の連携による効率化(水平補完)
(2) 小規模市町村への支援(垂直補完)
(3) 県から市町村への権限移譲 |
|-----|---|

市町村税の徴収支援、道路施設の維持補修の推進
国民健康保険の広域化、市町村情報システムの共同化 等

- ② 地域における多様な主体との連携・協働
・「奈良県協働推進指針」に沿った協働の推進

人材・組織マネジメント

- ① 人材の確保と育成
・各種研修の実施(統計リテラシー・接遇力の向上)
・市町村の人材育成支援
- ② 組織の整備
・出先機関の統合・再編
保健所等【27年1月～】
・地方独立行政法人への移行
県立大学【27年4月～】
・第三セクター等の改革の推進

財政マネジメント

- ① 歳入の確保
・税外未収金・県税収入未済額の削減
・地方消費税の清算基準の見直しなど、地方税財政制度の提案
- ② 歳出の見直し
・県債発行額の抑制 ・ 公会計の整備と公表

○計画期間

平成26年4月～平成29年3月(3カ年)

※ 取組項目の進捗状況を毎年度、各分野の有識者等を交え、検証し、公表するとともに、必要に応じ取組項目の追加等、改訂

ファシリティマネジメント

庁舎、学校、福祉施設、県営住宅などの建物資産や土地

- | | |
|------|---|
| 基本方針 | (1) 保有総量最適化
(2) 県有資産の有効活用
(3) 長寿命化の推進 |
|------|---|

- ・ 県有建築物の耐震改修の推進【27年度 耐震化率90%目標】
- ・ PFI手法による施設整備(まほろば健康パーク【26年7月開園】)
- ・ 公の施設改革の推進

アセットマネジメント

道路、橋梁、公園などのインフラ資産

- ・ 「(仮称)道路整備基本計画」に基づく道路の整備【26年度～】
- ・ 下水道のアセットマネジメント
- ・ 社会資本の維持管理における包括契約の導入 等

「公表」「対話」を文化とした行政経営

- ・ 広報力の強化と広報手段の多様化
- ・ アンケート、協議会等による県民意見の分析と反映
- ・ パブリックコメントの実施 ・ 利用者等満足度調査の充実

業務の改善、ワークライフ・バランス

- ・ 社会保障・税に関わる番号制度導入による行政事務の効率化【28年1月 番号利用開始、29年7月 情報連携開始】
- ・ ワークライフ・バランスの推進

内部統制

- ・ 行政評価の充実(マネジメントサイクルの推進)
- ・ 会計事務処理能力の向上
- ・ 監査機能の充実・強化 ・ 情報セキュリティ体制の充実
- ・ 公共事業評価の推進